

## パラスポーツの推進について

### (1) 概要

市内で開催されるパラスポーツ大会において、パラスポーツファンを拡大するためのイベントの実施や、障害者のスポーツ参加の拡大など、障害の有無に関わらずともにスポーツに親しみ交流できる共生社会の実現を目指します。

### (2) 2018（平成30）年度の主な取組み

#### ○パラスポーツ応援事業（行動計画P27）【新規】

パラスポーツの魅力や競技の迫力を体感できるパラスポーツ競技大会の会場外において、多くの市民が観戦してパラスポーツファンが拡大するよう、応援のための盛り上げイベントを、千葉県や経済界、地元企業などと連携し、実施します。

⇒2018年5月に千葉ポートアリーナで開催されるジャパンパラウィルチェアーラグビー競技大会を皮切りに、下記の大会においても実施します。

○対象となる大会（予定）

- ・ウィルチェアーラグビー日本選手権大会
- ・ジャパンパラゴールボール競技大会
- ・長谷川良信記念・千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会

#### ○パラスポーツ市民大会（行動計画P27）【新規】

東京2020パラリンピック競技大会に合わせて実施する、パラスポーツ市民大会に向け、ルールや審判等の解説、指導や競技力向上のための講習を実施します。

#### ○パラスポーツ・アスリートの積極的な広報（行動計画P26）【新規】

千葉市に縁のあるアスリートの活躍や競技のルール等を市政だより、ホームページ等で紹介します。

また、市内のデジタルサイネージ、大型ビジョン等を活用して、パラスポーツ大会の周知や競技のPRを実施します。

#### ○スポーツ大会等への障害者の参加促進（行動計画P27）

障害の有無に関わらず、スポーツに親しむことができるよう、千葉市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ大会に障害者が参加できるような取組を促進するとともに、地域のスポーツ活動にパラスポーツを取り入れます。

### ○パラリンピアン等による学校訪問（行動計画P26）

小・中学校へパラリンピアン等が訪問し、講演や体験会を通して、競技や障害者への理解を深め、市内で開催されるパラスポーツ大会の観戦につなげます。また、市民等へ周知し見学してもらうことで、地域での関心を高めます。

- 平成28年度 20校で実施しました。
- 平成29年度 51校で実施しました。
- 平成30年度 50校で実施します。（平成31年度までに市内小・中学校168校実施予定）

### ○大学との連携による講座開催（行動計画P40）

市内大学にて、学生などを対象にパラスポーツの講座を開催し、競技普及の担い手育成を支援します。

- 平成29年度 市内全9大学のうち6大学で実施しました。
- 平成30年度 市内全9大学で実施します。

### ○障害者とその家族を対象としたスポーツ体験会（行動計画P41）

障害者等が気軽に参加でき、パラスポーツにふれることができる体験会を実施します。

- 平成29年度 ボッチャ体験会を8回実施しました。（その他、障害者支援施設で2回試行的に実施しました。）
- 平成30年度 競技を新たに増やし、実施します。

### ○理学療法士との連携（行動計画P41）

理学療法士のネットワークを活用し、体験会やイベントを障害者やその家族へ周知することにより、障害者のスポーツ参加を働きかけます。

また、理学療法士自身がパラスポーツを理解することで、障害者のさらなるスポーツ参加につなげるため、理学療法士を対象としたパラスポーツ体験会を実施します。

- 平成29年度～ ボッチャ体験会を年2回実施しています。

### ○スポーツ交流会の開催支援（行動計画P41）

大学等が企画する、障害の有無に関わらずスポーツに親しむことができる交流会の実施を支援します。

- 平成29年度 市内4大学で実施しました。
- 平成30年度 市内5大学で実施します。